

ITを活用した モノづくり革新研究 フォーラム

— 変革への対応・先行と
新しい価値づくりを考える —

■■■■■■ 開催にあたって ■■■■■■

IT、デジタル技術の進化は様々なモノやコトがつながりデジタルデータに変換・蓄積・分析できるようになり、マーケットと現場が直接結びつくことで、市場ニーズへの対応力、新しい価値の創出力、モノづくり変革力がより一層問われています。

このような問題意識に鑑み、IT、デジタル技術を活用し変革を図る今日的先進企業の取り組みを学び自社の課題の解決、進化について交流討議し各社のモノづくり革新に活かしていただくために第1期に続き第2期を企画することにいたしました。

ITを活用したモノづくりの変革、成長戦略、新しい価値づくりに問題意識を持たれる方々の参加を期待しております。

●第1回会合● 2017年11月9日(木) 13:30~17:00 東京・芝公園「メルパルク TOKYO」

《第1回会合はオープン(無料)にしております。関心をお持ちの方は体験参加をご検討ください。》

■ 基調講演

コニカミノルタの考えるIoT時代のものづくり ~デジタルマニュファクチュアリングに基づく生産現場力改革~

コニカミノルタ株式会社 生産本部生産技術センター長 杉原 誠 氏

1. コニカミノルタの事業概要と生産の概要
2. コニカミノルタが取り組んでいる「デジタルマニュファクチャリング」
 - ・目指す生産の姿と課題認識
 - ・コニカミノルタの考えるIoT時代の現場力
3. 生産現場における取組の紹介
 - ・マレーシア生産拠点や日本生産拠点等の事例

■ オリエンテーション

研究会の進め方、問題意識交流

●第2回会合● 2017年12月7日(木) 13:30~17:00 東京・表参道「アイビーホール」

コマツ流 モノづくりのつながる化 ~IoTの活用でものづくり改革~

コマツ 生産本部粟津工場生産技術部長 本郷 忠 氏

1. コマツの事業概要
2. コマツ流モノづくりのつながる化とは
 - ・コマツの成長戦略
 - ・KOM-MICSとは
3. KOM-MICSによる製造現場の見える化・つながる化で生産改革

■会の構成・推進体制

◎運営幹事： (順不同)	根本 強一 氏	シー・キュー・シー(株) 代表取締役社長
	山口 宏司 氏	(株)日立システムズ 研究開発本部 事業主管
	川越 浩史 氏	東芝テック(株) 商品・技術戦略企画部 グローバルモノ創りセンター センター長
	大島 康史 氏	リコーエレメックス(株) 情報機器事業本部 生産統括センター GP技術部部長
	松井 孝利 氏	ヤンマー(株) ビジネスシステム部 課長
	吉川 直樹 氏	(株)村田製作所 情報システム統括部 モノづくり支援システム部 シニアスペシャリスト

メンバー:モノづくりの変革、成長戦略、新しい価値づくりに問題意識をもたれる方々

*本音ベースの議論を深めるため、互いに守秘義務を遵守いただける方

■本研究会の特徴

- 1.異業種交流を深めることにより業種・業界の壁を越えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、社外のネットワークを広げパーソナルバリューの向上が図れます。
- 2.モノづくり革新に造詣深い識者、研究者および先進企業の事例研究により最新の情報、取り組みを学べます。
- 3.講演、事例研究、メンバー企業の情報交流から自社の立ち位置、課題が明らかになるとともに、グループ研究討議から異業種交流ならではのアイデア、刺激、ヒントが得られます。
- 4.フォーマルな研究活動に加えインフォーマルな研究活動を随時行うことで、信頼関係に裏打ちされた“ここだけの話”的なディスカッションが可能となります。

■研究スタイル基本形式

- 第1回会合.....基調講演 オリエンテーション 自己紹介、問題意識交流
- 第2回会合.....事例講演、グループ討議
- 第3回 合宿研究会.....分科会研究スタート
- 第5回会合.....現地見学会
- 第4回・第6回・第7回・第8回会合.....事例講演、分科会研究
- 第9回会合.....これまでの分科会の議論を整理し現場への展開策、提案をまとめる
- 第10回会合.....最終会合 分科会研究の成果の発表と意見交流

■開催要領

2017年11月9日(木)～2018年8月20日(木)〔毎月1回:全10回(合宿研究会含む)〕

時間帯／13:30～17:00(但し、第9回～第10回は13:00～17:00)

会場／都内会議室



《第1回》

17 11/9日(木)

コニカミノルタの考えるIoT時代のものづくり
～デジタルマニュファクチャリングに基づく生産現場力改革～

コニカミノルタ(株) 産本部生産技術センター長 杉原 誠 氏

・オリエンテーション ・自己紹介

《第2回》

12/7日(木)

コマツ流 モノづくりのつながる化
～IoTの活用でものづくり改革～

コマツ 生産本部粟津工場生産技術部長 本郷 忠 氏

講演を話題に成功の要因を整理、学びをメンバーの課題への応用について意見交流

《第3回》

18 1/26(金)

・27(土)

■ 合宿研究会

分科会研究スタート(part1)

これまでの討議とメンバーの課題・問題意識から希望テーマをグループ研究、討議する。

- ① 右記分科会研究課題の例示を参考に、希望テーマに分かれてグループを編成(分科会)、メンバー各社自身の課題・問題意識の交流
- ② ①の交流で抽出された共通重要課題を浮き彫りに研究討議、意見交流
- ③ 合宿研究会以降の分科会研究(グループ研究・討議)の方向を決める
- ④ 各グループから今後の分科会の研究討議の方向を紹介し、意見交流

分科会課題の例示

下記研究課題の例示を参考に問題意識の強い希望テーマに分かれて分科会(グループ)を編成、課題解決策を徹底討議し、最終会で発表し成果を共有する。

■ 事業への活用(モノづくり競争力の再構築)

- ・活用した予防保全、故障予知、運用最適化
- ・IT/AIを活用した設計支援、開発支援、製造支援
- ・IT/AIを活用した省人化、ロボット化(効率化)
- ・モノづくりのつながる化、コンカレント化など

■ データ収集と活用の仕組み

- ・製造現場のデータ収集と活用の仕組み
- ・商品、製品、機械などのデータ収集と活用の仕組み
- ・市場情報を事業(戦略、商品企画、生産、販売)に活用
- ・市場・顧客情報の収集方法とその活用

■ 人材育成

- ・ITで匠の経験・知見を見える化、横展開
- ・IT/AIを活用した技能伝承、人材育成
- ・IT活用の推進、システム開発、運用の人材確保と育成

《第4回》

2/8日(木)

予定

IoTと人工知能(AI)を使った異常予知、故障検知への活用

依頼中

《分科会研究(part2)》合宿に続き、さらに議論を深める。

《第5回》

3月調整中

見学会 スマート工場を目指した取り組み

依頼中

《第6回》

4月調整中

わが社が取り組むモノづくり革新

依頼中

《分科会研究(part3)》合宿に続き、さらに議論を深める。

《第7回》

5月調整中

ブリヂストンのデジタルトランスフォーメーション

～AIとIoTで推進する新しい時代のもの作り～

(株)ブリヂストン

《分科会研究(part4)》合宿に続き、さらに議論を深める。

《第8回》

6/20日(水)

合同開催

町工場が取り組むIoTによる生産業務の大幅改善事例について(仮題)

～「製造ライン遠隔モニタリングシステム」～

旭鉄工(株) 代表取締役社長 木村 哲也 氏

《第9回》

7/12日(木)

分科会研究(part5)

これまでの議論を整理し、現場への展開策、提案をまとめる。

《第10回》

8/23日(木)

分科会研究成果の発表

掘り下げた課題研究討議の結果を発表、全体で意見交換し、グループ研究討議の成果を共有し各社の展開に活かす。

終了懇親会

■前期(第1期)研究経過

第1回	GEのインダストリアル・インターネット戦略 GEジャパン(株) 専務執行役員
第2回	e-F@ctoryが目指す、IT技術とものづくりの融合がもたらす将来像 三菱電機(株) FAシステム事業本部 e-F@ctory 戦略プロジェクトG技術Gグループマネージャー
第3回	“i”が織りなす オムロンの製造現場革新 オムロン(株) インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー 企画室 拡業推進部長
第4回	顧客サービスを変革するIoT/M2M戦略 ～A SUSTAINABLE FUTURE～テクノロジーで、新しい豊かさへ ヤンマー(株) 経営企画ユニット ビジネスシステム部 執行役員 部長
第5回	日立国際電気に見る、グローバルトップへの改革 ～モノづくり強化の設計・製造業務改革とITシステムの構築～ (株)日立国際電気 情報システム統括本部 設計業務改革推進部 主任技師
第6回	“ものづくり”と“ひとづくり” オリンパス(株) 専務執行役員
第7回	見学会 ITと一貫生産体制を融合した デジタルプロダクションシステム(Viscotecs=ビスコテックス) セーレン(株) 研究開発センター
第8回	合宿研究会 PART 1:講演「IoTシステム技術動向とそれらを支えるシステムズエンジニアリング」 PART 2～4:分科会を中心としたグループ討議、概要報告、全体交流 A. ITを経営・ものづくりにどのように活用すべきか B. ITを使ったモノづくり強化のあり方について C. ITを使ったデータ収集、活用の方法 D. 人材育成
第9回	分科会を中心としたグループ討議
第10回	PART 1:分科会研究討議成果の発表(A, B, C, D)、全体意見交流。 PART 2:来期の研究課題の議論。

■第1期参加企業

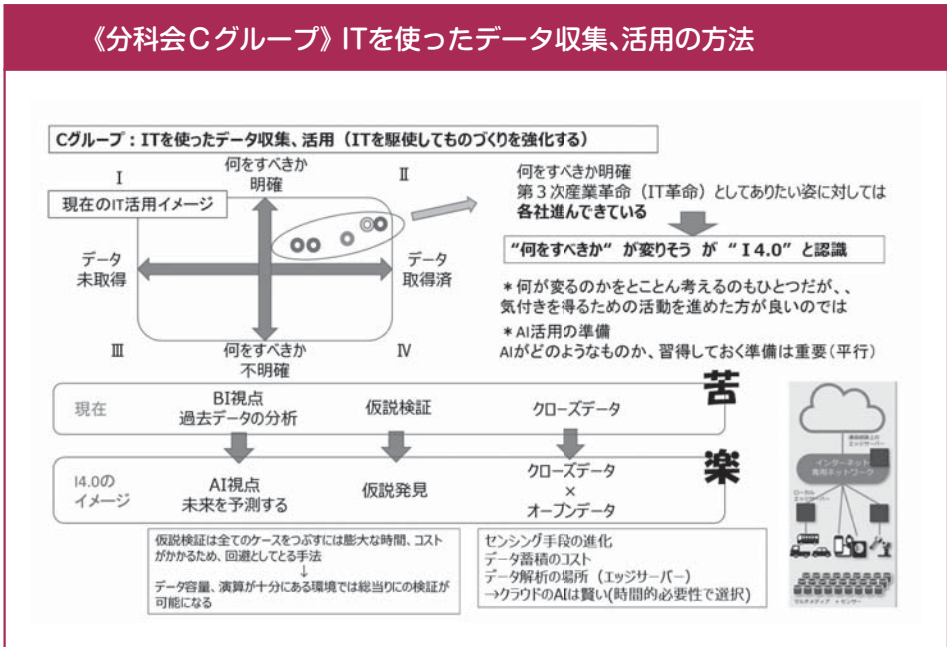
アズビル(株)	リコーエレメックス(株)	EYアドバイザリー(株)
(株)イトーキ	東芝テック(株)	リコーインダストリアルソリューションズ(株)
藤森工業(株)	(株)日立システムズ	(株)リコー
理想科学工業(株)	(株)村田製作所	三菱鉛筆(株)
DIC(株)	ブラザー工業(株)	
YKK(株)	ヤンマー(株)	

■ 第1期メンバーの声

- ・ 異業種のITへの取り組みを知ることができた。
- ・ 生々しい各社各様の取り組みの話が聞けて参考になった。
- ・ 詳しい技術に関する知見の紹介が良かった。
- ・ 講演は広く色々な会社の話聞いて、また講師の方と直接話せる機会があって良かった。
- ・ 分科会は、各社の内容を取りまとめたまどとなり、次に向かって何をしていくか、あまり検討できなかった
- ・ 見学のように実際の現場を見て話を聞ける機会は非常にインパクトがある

■ 第1期分科会活動報告資料

《分科会Cグループ》ITを使ったデータ収集、活用の方法



《分科会Dグループ》人材育成

IoT時代のコアな技術(系管理)職の責務と権限

#	業務領域	責務	権限	技術 位置付け
1	既存事業の強化	現在推進している業務範囲の中で、最大限の効率及び品質改善を達成する(10%~30%)	・与えられたリソースの活用 ・必要に応じた提案	自組織内
2	既存事業の拡大	会社の抱えている課題/目標を理解して、最適となるソリューションを提案・合意して、貢献度を高くする	・提案立案 ・必要なリソース調整	事業部 同一ドメイン
3	横展開可能な 技術体系化	自分の組織での成果を整理・体系化して、横展開可能な状態として、積極的に他組織へ展開推進する	・体系化計画作成 ・リソース調整	会社内
4	新規ソリューション 創出	会社ビジネス戦略を理解して、1~3の成果を活用して、新しいビジネス創出を担うソリューションを開発する	・新規ビジネス計画立案 ・リソース調整	社外



各々の業務領域で、ビジネス展開に大きく貢献できる
技術視点のロードマップを作成して、合意形成させる

■参加費

正会員

237,600円
(本体価格:220,000円)

一般

259,200円
(本体価格:240,000円)

1社2名参加可能です。

*分割・次年度支払いなど可能です。お気軽にご相談ください。

- ・通信費・資料代などの一切を含みます。
- ・但し、合宿研究会は別途実費をご負担いただきます。
- ・また、個別に分科会研究充実のため分科会単位の合宿が企画される場合も実費ご負担となります。

■申込方法

一般社団法人 **企業研究会** 担当:井堀 邦雄

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

電話:03-5215-3512 FAX:03-5215-0951~2

E-mail:ibori@bri.or.jp URL:https://www.bri.or.jp

*出来るだけHPから所定事項をご入力くださりお申し込みください。FAXの場合は下記申込用紙に必要事項をご記入の上お申し込みください。関係書類を郵送させていただきます。

*本交流会議の詳細については、お気軽に上記担当までお問い合わせください。

体験参加につきまして:本会に興味をお持ちの方で、雰囲気を見て正式参加を検討されたい方々には第1回例会(11/9)の「体験参加」をお薦めします。※費用無料・要:事前予約。ご希望の方は、下記枠内にチェックを頂き、必要事項をご記入の上、FAX・E-mailにてご送信下さい。折り返し、「第1回例会:体験参加通知」をE-mailにてご案内致します。

170306 17/11/9 第2期「ITを活用したモノづくり革新研究フォーラム」 申込書

一般社団法人企業研究会 御中

FAX:03-5215-0951~2

該当する項目に✓をご記入下さい。

会合の趣旨に賛同し、下記により全会合の参加を申込みます。

参加を検討中につき、第1回例会の体験参加を希望します。

年 月 日

会社名	会社所在地	〒	—
主登録者① (フリガナ) 氏名	部課・役職名	TEL:	()
		FAX:	()
		E-mail:	
副登録者② (フリガナ) 氏名	部課・役職名	TEL:	()
		FAX:	()
		E-mail:	
備考	※登録者の所属の住所が異なる場合はお知らせください。 また請求書は原則登録者名①の方にお送りする予定ですが、ご希望ありましたらお知らせください。		

※2名参加可能ですのご登録ください。特におられない場合は、空欄でも結構です。

※お客様の個人情報は、本交流会議に関する確認・連絡および当会主催のご案内等をお送りする際に利用させていただきます。